

# 六甲山カンツリーハウスで「雪まつり」

人工雪を敷き詰めた広場で遊ぶ「真夏の雪まつり」が、六甲山カンツリーハウス（灘区六甲山町）で開かれている。夏本番となり、流しそうめんを楽しむ企画も登場。涼を求める親子連れらの歓声が上がっている。

（大橋凜太郎）

## 涼感たつぷり 真夏の銀世界



夢中で雪の感触を楽しむ子どもたち=いずれも六甲山カンツリーハウス

人気を集めているのが、約100トの人工雪の中に隠された貯金箱やぬいぐるみなどを探す「宝さがしゲーム」。子どもたちはスコップとバケツを両手に持ち、雪をかき分けながらお宝を手にしていった。会場を訪れた加古川市の寺本煌虎君（3）は「ふかふかの雪や」と声を上げて感触を楽しんでいた。

広場横の斜面では「流しそうめん」もスタート。竹で組んだ全長10メートルの台に次々と流しそうめんが流され、親子連れらが割り箸ですくいとっている。大阪府の西田花埜ちゃん（8）は「初めての流しそうめんだったけど、いっぱい取れた」と笑顔で話していた。

真夏の雪まつりは午前11時～午後4時半（8月11～15日は午後5時半まで）。参加無料（別途入園料が必要）。8月31日まで連日催し、9月2、3、9、10日の土日も開催する。流しそうめんの参加は入園料以外に300円が必要。8月31日までの平日（14日、15日は除く）、午前11時と午後2時から。各回、六甲山カンツリーハウスホームページで前日午後5時までに50人の参加を受け付ける。ともに雨天中止。六甲山カンツリーハウス ☎078・891・0366

## 流しそうめんも人気



すくい上げるたび、歓声上がる流しそうめん